

# Web 版 図書館しが

平成 20 年 2 月 1 日発行 編集・発行：滋賀県立図書館

## 致 良 知 ～ 中江藤樹

### 生誕 400 周年～



『藤樹先生御絵伝絵葉書』  
藤樹神社発行 当館所蔵)

今なお「藤樹先生」「藤樹さん」と親しみを込められ慕われ続ける中江藤樹。

平成 20 年(2008 年)は中江藤樹生誕 400 周年にあたります。

中江藤樹は備前藩(現岡山県)藩政改革を進めた熊沢蕃山を始め、多くの門人を育てました。

また「日本陽明学の開祖」と言われ、のちに「近江聖人」と讃えられて近世思想史に大きな足跡を残しています。



(当館所蔵の『翁問答』、『鑑草』)

## INDEX

- ・ 致良知～中江藤樹 生誕 400 周年～ . . . . . 1～3 面
- ・ 今月の BOOK まーく . . . . . 5 面
- ・ 郷土資料紹介 . . . . . 6 面
- ・ Web 版湖国の本棚 . . . . . 7 面

### 図書館の催し

「ごみ減量化と環境美化に関する  
標語・ポスター」展  
2月1日(金)～2月11日(祝)  
1階談話室にて  
午前11時と午後3時の2回

おはなし会  
2月20日(水)・3月19日(水)  
1階談話室にて

## 中江藤樹の生い立ちと生涯

中江藤樹は慶長 13 年（1608 年）3 月 7 日に近江高島郡小川村（現高島市安曇川町上小川）に生まれました。名は原<sup>げん</sup>、字は惟命<sup>これなが</sup>、通称は与右衛門<sup>とえもん</sup>と言います。藤樹という名は、自宅に藤の木があったことから、門人たちが「藤樹先生」と呼んだことに由来します。

9 歳の時に父母と別れて故郷小川村を後にし、米子藩（現鳥取県米子市）に仕えていた祖父吉長の養子となって米子に行きました。翌年には藩主の転封によって、大洲藩（現愛媛県大洲市）に移り住みます。

藤樹 11 歳の時、彼の人生を決定づける『大学』に出会います。その「身分に関係なく、身を正しくするのが人間としての本分である。」といった考え方に感動した彼は、学問に精進し心身ともに正して、「聖人」となるべく日夜勉学に励みます。



15 歳で祖父を亡くすと、跡を継いで武士として勤めながら、『論語』や『孟子』などを精読し、次第に朱子学に傾倒していきます。

そんな藤樹にも気掛かりなことがありました。それは父の死後小川村で一人で生活している母市のことでした。そのため藤樹はついに武士をやめて帰郷する決意をしました。

（『藤樹先生御絵伝絵葉書』） 27 歳の時、勤めをやめ帰郷する願いを藩に提出しましたが、音沙汰がないため許可を得ないまま寛永 11 年（1634 年）10 月脱藩し、小川村に帰りました。

帰郷後は会所（のちの藤樹書院）で村人たちを教える一方、熊沢蕃山<sup>くまざわばんざん</sup>、淵岡山<sup>ふちこうざん</sup>など藤樹の評判を聞いて門を叩いた弟子たちを育て上げ、教育者としても熱心でした。

小川村に帰ってより思索を深めた藤樹は、『翁問答』<sup>おきなもんどう</sup>、『孝経啓蒙』、『大学考』、『鑑草』<sup>かがみくさ</sup>などを著しましたが、持病の喘息の悪化のため 41 歳で亡くなりました。



（現在の藤樹書院）

## 『翁問答』と中江藤樹の評価

藤樹は大洲藩に残してきた学問を共にする同志や弟子の求めに応じて、寛永 17 年（1640 年）に『翁問答』を執筆します。これは藤樹の代表的な著作であり、また彼の思想の根幹を示すものと言われ、徳を修める道について書かれています。

藤樹はこの書物で「孝」を「至徳要道といへる、天下無双の霊宝」として、「貴賤男女をえらばず、おさなきも老たるも、本心のあるほどの人はあまねくまもりおこなふみちなり。」とその大切さを説きました。

『翁問答』は藤樹死去の翌年慶安 2 年（1649 年）に正式に出版され、たちまち多くの人々に愛読され、影響を与えました。新井白石は自伝『折たく柴の記』にこれを読んで聖

人の道を知り、それに努めたいと記しています。

しかし藤樹の「人は皆平等である」という考え方は江戸幕府から警戒されていました。その影響で藤樹の死後は藤樹書院での集会は禁じられました。藤樹書院は学問所としてよりもむしろ藤樹の霊を祭るところだけになってしまったのです。

その後藤樹の学問を守り続ける村人や門人、また全国の高名な学者のお陰で、藤樹の教えは伝えられてきましたが、明治時代になって再び大きく注目されました。藤樹の人柄や徳を伝える多くの逸話が主に修身の教科書にたびたび登場したのです。『翁問答』の「孝」の考え方や藤樹の行いが、時の政府にとって人々を教化するのに都合が良かったのでしよう。

また大正 11 年(1922 年)には藤樹神社が県社として創設されました。神社からは藤樹を讃えて、生涯を描いた『藤樹先生御絵伝絵葉書』や『藤樹先生一夕話』(1944 年刊)が発行されています。

戦後は教科書から藤樹の逸話も姿を消し、時代によって藤樹の捉え方もさまざまです。

なお『翁問答』(慶安 2 年版)(当館の請求記号:1-0915-649)をはじめ、『鑑草』(1781 年刊)(1E-0915-781)など藤樹の著書で江戸時代に発行された大変貴重な資料を当館は所蔵しています。また藤樹関連資料も多数所蔵しています。これらの資料は参考資料室で閲覧することができます。

### 中江藤樹の教えを伝える人々

藤樹は人間には身分の上下を問わず、「良知<sup>りょうち</sup>」という美しい心があると言っていました。そしてその「良知」が欲望によって曇らず、きれいに発現するように鏡のように磨かなければならないと説いていました。それを「致良知<sup>ちりょうち りょうち いた</sup>(良知に致る)」といいます。それを実現する方法は藤樹にとって「学び」でした。そして学んだことを心に従って実践していくことこそ重要であると説いていました。



(藤樹書院に掲げられている「致良知」の額) 村の人々、また門人にとって「学び」の場は藤樹書院でした。現在も藤樹書院は残っていて(明治 15 年再建)、神主(儒式<sup>しんしき</sup>の位牌)が祭られています。そして寛政 9 年(1797 年)8 月 25 日、儒式により藤樹 150 年祭が藤樹を慕う村人や門人たちによって書院で行われて以降、50 年ごとに執り行われて来ました。また「立志祭」「藤樹祭」など、小川地区の人々が中心になって、現在でも藤樹書院で年中行事が行われています。

こういった祭祀が 400 年近くも守られてきたことによって、藤樹の教えや徳が現在に伝わっています。平成の時代になってもそれは輝きを失うことはありません。



## FLASH ふらっシュ

ご存じですか？参考資料室の展示コーナー



県立図書館は、滋賀県の財産である絵図や古文書、古い写真や絵はがきなどを多数所蔵しています。

ホームページでもご紹介していますが、やはり実際にこの目で見たい、と思われたことはないですか？

参考資料室では、「今月のデジタルアルバム帖」でご紹介した資料から、月替わりで何点かを選んで展示しています。

普段はなかなか目にするのでできない貴重な資料が気軽に見られます。ぜひご覧ください。

## 湖国の本棚

今号の「湖国の本棚」では、県立図書館で読める中江藤樹の著作と関連資料を中心にをご紹介します。



～中江藤樹の著作を読みたいときは～

**翁問答（岩波文庫）** 加藤盛一校註 岩波書店 1989年

**鑑草（岩波文庫）** 加藤盛一校註 岩波書店 1989年

**加香美草 現代語新訳『鑑草』**

日本総合教育研究会編訳 行路社 1990年

**中江藤樹（日本思想体系）** 岩波書店 1974年

**中江藤樹 熊沢蕃山（日本の名著）** 中央公論社 1976年

**中江藤樹人生百訓** 中江彰著 致知出版社 2007年

～中江藤樹をもっと知りたいときは～

**中江藤樹** 山住正己著 朝日新聞社 1977年

**中江藤樹** 古川治著 明德出版社 1990年

**中江藤樹の総合的研究** 古川治著 ぺりかん社 1996年

**中江藤樹入門** 近江聖人中江藤樹記念館編集

近江聖人中江藤樹記念館 2002年

**中江藤樹** 久保田暁一著 致知出版社 2006年

7面のWeb版館報でも多くの資料を紹介していますのでご覧ください。

## 今月のデジタルアルバム帖



### 2月「ヴォーリスと近江八幡」

1月に引き続き、ウィリアム・メレル・ヴォーリスの業績について取り上げます。

今月は、彼が創刊にかかわった『湖畔の声』の創刊号や著作『吾家の設備』などもご紹介していきます。

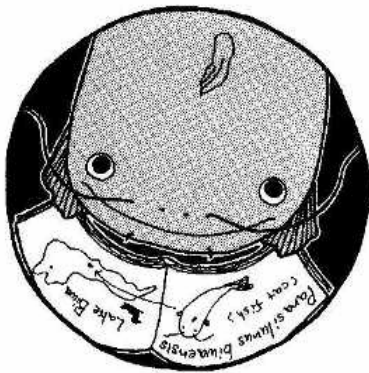
### 3月「中江藤樹と生誕の地高島」（仮題）

今月号の特集でご紹介したとおり、本年は中江藤樹の生誕から400年にあたります。

「近江聖人」とよばれた中江藤樹に関わる資料と、そのゆかりの地高島を版画と絵はがきを中心に紹介する予定です。

## 今月のBOOKまーく

### 授乳室 赤ちゃんも お母さんも リラックス



赤ちゃんと一緒に来館されるお母さんにとっても、ゆっくり本を選ぶことができるような場所であってほしい。そんな思いで子育て中のお母さん、お父さんにおすすめの本や言葉を授乳室の壁に紹介しています。

毎月その季節にちなんだ絵本をとりあげ、赤ちゃんにミルクをあげている間に絵本の世界を楽しむようになっています。赤ちゃんと一緒にリラックスしながらゆっくり本を選んで、またお家でもじっくり味わっていただければ・・・と願っています。



## 郷土資料紹介

### 中江藤樹心学派全集 上下巻

小山國三，吉田公平編 研文出版 2007年

### 円仁慈覚大師の足跡を訪ねて

#### 今よみがえる 唐代中国の旅

阿南・ヴァージニア・史代著 小池晴子訳  
ランダムハウス講談社 2007年

### 中世寺院勢力論 悪僧と大衆の時代

衣川仁著 吉川弘文館 2007年

### 継体天皇と即位の謎

大橋信弥著 吉川弘文館 2007年

### 戦国の大津

#### 天下統一の夢、坂本城、大津城、膳所城

大津市歴史博物館編刊 2007年

### 絵はがきのなかの彦根

細馬宏通著 サンライズ出版 2007年

### 琵琶湖三十三万八千歩

岡野忠雄著 交通新聞サービス 2007年

### 町のオアシスの2555日

#### 介護予防とまちづくり

町のオアシス運営委員会編著

町のオアシス 2007年

### だいじょもん椿

#### お婆の囲炉裏ばなし第一編 全30話

平居一朗著 アトリエ・イオス 2007年

### 村里に生きる 東近江の農村の生活

大塚勘二郎著 大塚勘二郎 2007年

平成19年11月～12月購入・寄贈分

### 彦根藩士族の歳時記

高橋敬吉〔著〕 藤野滋編 サンライズ出版  
2007年

### 関ヶ原合戦・あの人の「その後」

勝った人、負けた人がたどった「意外な運命」

日本博学倶楽部著 PHP研究所 2007年

### ヴォーリスさんのウサギとカメ

山崎富美子ぶん 山崎さやかえ 上ヶ原文庫  
2007年

### 湖北町の伝統食・地産食

#### 忘れぬうちに伝えたい

湖北町食事文化研究会編刊 2007年

### 湖東焼 たねや美濠美術館図録

谷口徹監修・解説 たねや近江文庫 2007年

### たかが落語されど落語

水江孝司著 たまご書房 2007年

### 京・近江の万葉めぐり カメラ散歩

矢田逸次写真・文 かもがわ出版 2007年

### 被告医師

藤本恵子著 駒草出版 2007年

### 灰色の研究 不登校連続殺人事件

吉屋行夫著 清風堂書店 2007年

### 運命の方程式

#### 医療不信の中で私のがんが治るわけ

杉林みづほ著 新風舎 2007年

## 湖国の本棚 Web 版

「湖国の本棚」では、当館で所蔵している中江藤樹関連の資料をご紹介します。なお、貴重書・古文書等、一部の資料は閲覧・貸出を制限しておりますのでご了承下さい。記載項目は 書名、副書名、著者、出版社、出版年、請求記号 となっています。

### (中江藤樹 著作)

- 翁問答 全4巻**, 中江藤樹著, 万治2年版, [京都], 吉野屋権兵衛, 1659, 1E-0915-659
- 翁問答 全5巻**, 中江藤樹著, 慶安2年版, [出版地不明], 勘右衛門, 1649, 1-0915-649
- 翁問答**, 中江藤樹著 加藤盛一校註, 岩波書店, 1936, 5-0915-36
- 翁問答**, 中江藤樹著 藤樹書院編, 安曇川町, 安曇川町立青柳小学校, 1974, S-0915-74
- 翁問答**, 中江藤樹著 井上哲次郎校訂, 広文堂書店, 1910, 5-0915-10
- 改正 翁問答 全8巻**, 中江藤樹著, 天保2年版, [江戸], 英文蔵, 1831, 1E-0915-831
- 改正 翁問答 全4巻**, 中江藤樹著 東叡山御用御書物所編, 青雲堂, 1831, 1E-0915-1~4
- 鑑草 上・中・下**, 中江藤樹著, 木版, 京都, 尾張屋勘兵衛, 1781, 1E-0915-781
- 鑑草**, 中江藤樹著 長谷川由夫解題, 復刻版, 安曇川町, 安曇川町立青柳小学校, 1974, SP-0915-74
- 鑑草**, 中江藤樹著 加藤盛一校註, 岩波書店, 1989, S-0915-89
- 鑑草**, 中江藤樹著 加藤盛一校註, 岩波書店, 1939, 5-0915-39
- 加香美草**, 現代語新訳『鑑草』, 中江藤樹原著 日本総合教育研究会編訳, 京都, 行路社, 1990, S-0915-90
- 孝経啓蒙略解**, 中江藤樹原著 西晋一郎通釈 藤樹頌徳会編, 目黒書店, 1939, 5-0915-39
- 心学文集 全**, 中江藤樹, 熊沢蕃山著, 文政7年補刻, [江戸], 須原屋茂兵衛, 1824, 1E-0915-824
- 大学解通釈**, 中江藤樹原著 西晋一郎通釈 藤樹頌徳会, 目黒書店, 1939, 5-0915-39
- 定本孝経啓蒙**, 中江藤樹著 加藤盛一校訂・譯注, 天晨堂, 1942, 5-0915-42
- 藤樹精言**, 中江藤樹著 橘明編, [出版者不明], 1813, 1-0915-813
- 藤樹先生遺稿**, 中江藤樹著 岡田維鷹(など)校, 木版, 京都, 銭屋総四郎, 1795, 1-0915-795
- 藤樹先生書簡 上・下**, 中江藤樹著 三宅石庵編, 写本, [作成地不明], 三宅石庵, 1713, 1E-0915-800
- 藤樹先生全集 全5巻**, 中江藤樹著 藤樹神社創立協賛会編, 青柳村, 藤樹書院, 1928, 5-0915-1~5
- 藤樹先生全集 全5巻**, 中江藤樹著 藤樹書院編, 岩波書店, 1940, S-0915-1~5
- 藤樹先生文武問答 完**, 中江藤樹著 巖井任重鈔録, 木版, 京都, 出雲寺文次郎, 1851, 1-0915-851

**藤樹全書 卷1～卷10**, 中江藤樹著 志村己之助編纂 齋藤耕三, 京都, 川勝鴻宝堂, 1893, 1-0915-893

**藤樹全書 卷1～卷10**, 中江藤樹著 志村己之助編纂 齋藤耕三, 京都, 點林堂, 1893, 1-0915-893

**頭註 國譯孝經 全**, 中江藤樹國譯 加藤盛一校訂・訓注, 復刻版, 安曇川町, 安曇川町立青柳小学校, 1974, SP-0915-74

**中江藤樹人生百訓**, 中江藤樹, 中江彰著, 致知出版社, 2007, S-1212-07

**中江藤樹のことば**, 素読用, 中江藤樹 [著] 中江彰編, 大阪, 登竜館, 2006, S-1212-06

**中江藤樹**, 中江藤樹 [原著] 山井 [ほか] 校注, 岩波書店, 1974, S-1215-74

**中江藤樹 上・下**, 中江藤樹著, 日本図書センター, 1979, 5-0915-1～2

**中江藤樹文集**, 中江藤樹 [原著] 塚本哲三編輯, 有朋堂, 1926, 5-0915-26

**日本の名著 第11巻**, 中江藤樹 熊沢蕃山, 伊東多三郎責任編集, 中央公論社, 1976, 5-1200-76

## ( 中江藤樹 評伝・研究書 )

**江戸の儒学**, 『大学』受容の歴史, 源了円著, 京都, 思文閣出版, 1988, 5-1210-88

**近江教育**, 山田誠之介著, 大津町, 島林専二郎, 1894, 5-3700-894

**近江聖人**, 馬場森之助編, 青柳村, 藤樹書院, 1897, 5-1215-897

**近江聖人**, 村井弦斎著, 博文館, 1892, S-1215-892

**近江聖人と青柳村**, 山下郡次郎誌, 青柳村, [青柳村], 1897, 1E-1215-16

**近江聖人中江藤樹**, 加藤盛一著, 学習社, 1944, S-1215-37

**近江聖人中江藤樹**, 大久保龍著, 啓文社, 1937, S-1215-37

**近江聖人中江藤樹先生**, 滋賀日出新聞教養部編, 大津, 滋賀日出新聞社, 1950, 5-1215-50

**近江聖人中江藤樹先生遺訓**, 静雨会編集, 大洲, 静雨会, 1968, 5-1215-68

**近江聖人 中江藤樹展**, 生誕350年記念, 藤樹先生生誕三百五十年記念事業協賛会編, [出版地不明], 藤樹先生生誕三百五十年記念事業協賛会, 1958, SP-1215-58

**近江の湖西, わがふる里**, 久保田暁一著, 彦根, サンライズ印刷株式会社出版部, 1994, (内容: ふるさと考 歴史散歩 湖西の先哲中江藤樹), S-9610-94

**大洲の三偉人**, 近江聖人中江藤樹と名僧盤珪禅師と明治の先覚者矢野玄道, 大塚道廣著, 入間, 大洲陶器株式会社, 1981, S-1215-81

**小川村だより**, 松本孝太郎編, 安曇川町, 高島郡教育会, 1978, 5-1215-78

**御国の光近江聖人 全**, 加藤盛一, 高橋俊乗共著, 青柳村, 藤樹書院, 1922, 5-1215-22

**鑑草ものがたり**, 中江彰著, 岸和田, 不尽叢書刊行会, 2005, S-1212-05

**教育講談中江藤樹**, 雪のわかれ, 早川貞水講演, 大江書房, 1915, 5-1215-15

**郷土研究紀要 第1輯**, 滋賀県師範学校編, 大津, 滋賀県師範学校, 1934, S-0411-1

**近世畸人伝 [正]**, 伴蒿蹊共著 正宗敦夫編纂, 日本古典全集刊行会, 1939, 5-2800-1

**近世畸人伝**, 伴蒿蹊著 森銚三校注, 岩波書店, 1971, S-2800-71



**近世崎人伝**,アウトサイダー 119人,伴蒿蹊選 村上護[訳]著,[東村山],教育社,1971,5-2800-71

**近世前期における天の思想について**,中江藤樹、貝原益軒の所説を中心に,佐久間正著,長崎,長崎大学,1980,SP-1215-80

**近世先哲の教育と思想**,福島政雄著,藤井書店,1944,(内容:中江藤樹の教育と思想),5-1215-44

**近世の学びと遊び**,竹下喜久男著,京都,佛教大学通信教育部,2004,(内容:藤樹書院とその周辺),S-1215-04

**研究論集 第39号**,関西外国語大学,関西外国語短期大学編,枚方,関西外国語大学,1984,(内容:中江藤樹における宗教性について-翁問答まで-(吉岡千秋著)),S-1215-84

**校訓讀本**,大溝尋常高等小学校編,大溝町,大溝尋常高等小学校,[出版年不明]S-3716-  
**甲子園大学紀要 第1・2号**,複写版,宝塚,甲子園大学,1970,(内容:中江藤樹の思想形成 その生活を中心に(古川治著) 中江藤樹の根本思想 「大学」と「中庸」を中心に(古川治著)),5-1215-70

**思想 第856号**,岩波書店,1995,(内容:中江藤樹・「孝」の教説と 孝子伝 との間(子安宣邦著)),S-1215-95

**春風**,小出哲夫著,広島,日本藤樹学会,1976,5-1215-76

**心画孝経**,中江藤樹自筆,藤樹書院編集,安曇川町,藤樹書院,2002,S-1215-02

**図解 中江藤樹**,安曇川町教育委員会編,安曇川町,近江聖人中江藤樹記念館,1988,SP-1215-88

**聖人中江藤樹**,柴田甚五郎著,弘学社,1937,S-1215-37

**先人に学ぶ・中江藤樹**,畑中誠治[話] 滋賀県企画 B B C びわ湖放送制作,大津,滋賀県,1994,5V-0800-94

**帝塚山大学紀要 第25輯**,奈良,帝塚山大学,1988,(内容:中江藤樹-筆跡・生涯・思想-(木南卓一著)),S-1215-88

**東京家政学院大学紀要 第27号**,町田,東京家政学院大学[ほか],1987,(内容:中江藤樹の女子教育論に関する考察 鑑草(その2)(浅沼アサ子著)),S-1215-87

**藤樹学講話**,西晋一郎著,目黒書店,1941,S-1215-41

**藤樹学の成立に関する研究**,木村光徳著,風間書房,1971,S-1215-71

**藤樹研究 復刊第3号**,藤樹学会編纂,広島,藤樹思想研究所,1958,5-1215-58

**藤樹書院蔵書分類目録**,岡村繁編,安曇川町,安曇川町,1985,S-0215-85

**藤樹書院の文化財**,滋賀県立安曇川文化芸術会館編,安曇川町,滋賀県立安曇川文化芸術会館,1980,S-7015-80

**藤樹先生**,滋賀県高島郡教育会編輯,修正第5版,青柳村,藤樹神社,1936,5-1215-34

**藤樹先生**,高島郡教育会編輯,第7版,青柳村,藤樹神社,1942,5-1215-42

**藤樹先生**,高島郡教育会編,修正第6版,青柳村,藤樹神社,1936,S-1215-36

**藤樹先生 全**, 滋賀県高島郡教育会編纂, [出版地不明], 滋賀県高島郡教育会, 1918, 5-1215-18

**藤樹先生 全**, 滋賀県高島郡教育会編, [出版地不明], 滋賀県高島郡教育会, 1919, 5-1215-19

**藤樹先生 全**, 滋賀県高島郡教育会編集, 修正第3版, [今津町], 滋賀県高島郡教育会, 1920, S-1215-20

**藤樹先生**, 安曇川町立青柳小学校編, 安曇川町, 安曇川町教育委員会, 1971, S-1215-71

**藤樹先生**, スライド教材解説書, 安曇川町教育委員会編, 安曇川町, 安曇川町教育委員会, 1987, SP-1215-87

**藤樹先生一夕話**, 藤樹神社社務所編輯, 青柳村, 藤樹神社社務所, 1944, 5-1215-44

**藤樹先生遺墨帖**, 藤樹頌徳会編纂, 彦根, 天農堂書店, 1939, 5B-1215-39

**藤樹先生への道**, 木村光徳博士頌徳記念集, 木村光徳頌徳記念集刊行会編集, 安曇川, 木村光徳頌徳記念集刊行会, 2001, S-1215-01

**藤樹先生を仰ぐ**, 松本義懿編, 安曇川町, 藤樹先生生誕三百五十年記念事業協賛会, 1958, SP-1215-58

**藤樹先生御繪傳**, 縣社藤樹神社編纂, 青柳村, 県社藤樹神社, 1939, 5-1215-39

**藤樹先生を語る**, 藤樹頌徳会編, 青柳村, 藤樹頌徳会, 1937, S-1215-37

**藤樹先生をめぐる女性**, 松本義懿著, 安曇川町, 藤樹書院, 1968, S-1215-68

**藤樹先生言行録**, 中里介山著, 大菩薩峠刊行会, 1934, S-1215-34

**藤樹先生と杉浦重剛**, 石川哲三, 松下亀太郎著, 大津, 石川哲三, 1973, 5-1215-73

**藤樹先生に学ぶ**, 第10回藤樹講演会, 木南卓一講述 安曇川町立青柳小学校編, 安曇川町, 安曇川町立青柳小学校, 1978, 5-1215-78

**藤樹先生に学ぶ**, 岡村繁著, 安曇川町, 安曇川町教育委員会, 1985, 5-1215-85

**藤樹先生年譜**, 藤樹頌徳會編輯, 藤樹頌徳會, 1932, 5-1215-32

**藤樹先生年譜 完**, 川田剛毅著, 明治3年再版, [出版地不明], [出版者不明], 1888, 1-1215-000

**藤樹先生年譜 完**, 分部光貞撰, 活字本, [京都], 点林堂, 1888, 1E-2815-888

**藤樹先生の教え**, 藤樹先生と陽明学, 荒木見悟講述 安曇川町立青柳小学校編, 安曇川町, 安曇川町立青柳小学校, 1977, 5-1215-77

**藤樹先生の学徳**, 松本義懿編, 渾沌社, 1931, S-1215-31

**藤樹先生の思想**, 第11回藤樹講演会, 山下龍二講述 安曇川町教育委員会編, 安曇川町, 安曇川町教育委員会, 1979, 5-1215-79

**藤樹先生の生涯**, 福島政雄著, 安曇川町, 高島郡教育会, 1963, 5-1215-63

**東北福祉大学紀要 第9巻第1号**, 仙台, 東北福祉大学, 1985, (内容: 日本教師論(5))  
中江藤樹とその師道論 (小野禎一著), S-1215-85

**中江藤樹**, 山住正己著, 朝日新聞社, 1977, S-1215-77

**中江藤樹**, 古川治著, 明德出版社, 1990, S-1215-90

[中江藤樹](#),さいわい徹脚本・画 伝記まんが「中江藤樹」制作委員会,安曇川町教育委員会編集,安曇川町,安曇川町,1992,S-1215-92

[中江藤樹](#),正信協会編輯,厚德書院,1937,5-1215-37

[中江藤樹](#),もろひとめぐみ文 さいわい徹画,大阪,登竜館,2000,S-1215-00

[中江藤樹](#),千葉ひろ子文 遠藤恵美子絵,新教育者連盟,2005,S-1215-05

[中江藤樹](#),大倉桃郎著,大日本雄弁会講談社,1940,S-1215-40

[中江藤樹](#),国府種徳著,博文館,1913,5-1215-13

[中江藤樹](#),加藤盛一著,文教書院,1942,S-1215-42

[中江藤樹](#),加藤盛一著,北海出版社,1937,S-1215-37

[中江藤樹](#),今堀文一郎著,愛隆堂,1969,S-1215-69

[中江藤樹](#),清水安三著,東出版,1967,S-1215-67

[中江藤樹](#),高橋俊乗著,弘文堂書房,1942,S-1215-42

[中江藤樹](#),天寿学原理,太田竜著,泰流社,1994,S-1215-94

[中江藤樹](#),道に志し孝を尽くし徳を養う生き方,久保田暁一著,致知出版社,2006,S-1212-06

[中江藤樹・異形の聖人](#),ある陽明学者の苦悩と回生,大橋健二著,現代書館,2000,S-1215-00

[中江藤樹・熊澤蕃山集](#),木村光徳[ほか]校訂,町田,玉川大学出版部,1966,5-1210-66

[中江藤樹 熊沢蕃山](#),木村光徳,牛尾春夫著,明德出版社,1978,5-1215-78

[中江藤樹史傳](#),大久保龍著,啓文社,1940,5-1215-40

[中江藤樹心学派全集 上・下巻](#),小山國三,吉田公平編,研文出版,2007,S-1212-1~2

[中江藤樹先生 全](#),得能文,新海正行著,裳華書房,1900,5-1215-00

[中江藤樹先生](#),先哲研究会編,今津町,滋賀縣立今津中學校,1937,S-1215-37

[中江藤樹先生](#),島本久恵著,春陽堂書店,1936,5-9515-36

[中江藤樹伝及び道統](#),後藤三郎著,理想社,1970,S-1215-70

[中江藤樹 道徳の指導資料](#),全学年,安曇川町立青柳小学校編,安曇川町,安曇川町教育委員会,1968,5-1215-68

[中江藤樹と大溝藩](#),松下亀太郎著,高島,吉川治先生記念会,2006,S-1212-06

[中江藤樹とその教育](#),後藤三郎著,新紀元社,1944,5-1215-44

[中江藤樹に学ぶ時代のこころ人のこころ](#),熱血和尚のにんげん説法3,栢木寛照著,二期出版,1994,S-1215-94

[中江藤樹入門](#),近江聖人中江藤樹記念館編集,安曇川町,近江聖人中江藤樹記念館,2002,S-1215-02

[中江藤樹の研究](#),藤樹の宗教、哲学、教育学、切支丹との関係,清水安三著,忠生村(東京都),桜美林学園出版部,1948,S-1215-48

[中江藤樹の儒学](#),その形成史的研究,山本命著,風間書房,1977,S-1215-77

[中江藤樹の生涯と思想](#),藤樹学の現代的意義,,高柳俊哉[著],行人社,2004,S-1215-04

**中江藤樹の女子教育論に関する考察（１）**, 鑑草（その１）, 浅沼アサ子著, 町田, 東京家政学院大学, 1985, SP-1215-85

**中江藤樹の人生観**, 陶山務著, 第一書房, 1943, S-1215-43

**中江藤樹の総合的研究**, 古川治著, ペリかん社, 1996, S-1215-96

**中江藤樹の道德思想**, 後藤三郎著, 理想社, 1969, S-1215-69

**中江藤樹の人間学的研究**, 下程勇吉著, 柏, 広池学園, 1994, S-1215-94

**中江藤樹論語**, 百川元著, 高山菊次, 1941, 5-1215-41

**日本學としての藤樹教學**, 松原致遠著, 大日本雄辯會講談社, 1943, 5-1215-43

**日本教師論**, 松陰・藤樹・淡窓に学ぶ, 小野禎一著, 近代文芸社, 1991, S-1215-91

**日本文化史論叢**, 柴田実先生古稀記念, 柴田実先生古稀記念会編集, 吹田, 柴田実先生古稀記念会, 1976, S-0400-76

**日本陽明学派の研究**, 藤樹学派の思想とその資料, 木村光徳著, 明德出版社, 1986, 5-1215-86

**日本陽明学派之哲學**, 井上哲次郎著, 第16版, 富山房, 1932, 5-1215-32

**人間二宮尊徳と中江藤樹の心**, 大塚道広著, 大塚道広, 1991, SB-1215-91

**姫路学院女子短期大学紀要 第10号**, 創立10周年記念号, 福崎町, 姫路学院女子短期大学, 1983, (内容: 日本の近代化と教育 中江藤樹の教育方法論 (古川治著)), S-1215-83

**姫路学院女子短期大学紀要 第15号**, 福崎町, 姫路学院女子短期大学, 1987, (内容: 藤樹教育学の形成と方法 (古川治著)), S-1215-87

**姫路学院女子短期大学紀要 第16号**, 福崎町, 姫路学院女子短期大学, 1988, (内容: 藤樹の教育学と教育目的観 (古川治著)), S-1215-88

**琵琶之音 第3號**, 岡野保編, 中洲村, 文友会, 1896, (内容: 藤樹先生法字の解), 5-0524-896

**古川治先生を偲ぶ**, 古川治博士追悼集刊行会編集, 安曇川町, 古川治博士追悼集刊行会, 2004, S-0415-04

**プレジデント 第24巻第3号**, プレジデント社, 1986, (内容: 中江藤樹「開悟」への苦闘41年 (徳永真一郎著)), S-1215-86

**文化 第42巻第3・4号**, 仙台, 東北大学文学会, 1979, (内容: 中江藤樹の思想 いわゆる後期を中心として (佐久間正著)), 5-1215-79

**「探ってみよう! たどってみよう!」**, ~近江(滋賀)に生きた人びと~, 滋賀県教育委員会編集, 大津, 滋賀県教育委員会, 2002, SB-2800-02

**物語中江藤樹**, 松下亀太郎著, 呉, 日本藤樹学会, 1981, S-1215-81

**陽明学 第2号**, 中江藤樹特集号, 二松学舎大学陽明学研究所, 1990, S-1215-90

**歴史の上から観た中江藤樹**, 衣笠安喜講述 安曇川町教育委員会編, 安曇川町, 安曇川町教育委員会, 1981, 5-1215-81



私の中国紀行, 藤樹学の源流をたずねて, 古川治[ほか]編, 安曇川町, 古川治[ほか], 1986,  
S-1215-86

## (小説)

小説中江藤樹 上・下, 童門冬二著, 学陽書房, 2001, S-9515-1 ~ 2

小説中江藤樹 上・下巻, 童門冬二著, 学陽書房, 1999, S-9515-1 ~ 2

天命の人 小説中江藤樹, 湊田隆雄著, 安曇川町, 湊田隆雄, 2001, S-9515-01